

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2015年4月前半）

### 1. 経済

- 2015年3月のインフレ率は年率0.3%（前月は0.1%）。（1日付統計局プレスリリース）
- ロイター通信によると、先般公表された米マクドナルドがルクセンブルクの子会社を経由して欧州全体で10億ユーロ以上の租税回避措置を行っているとの欧州及び米国の労働組合によるレポートを受け、欧州委員会はルクセンブルクに対して情報を求める書簡を送付したとの由。（1日付当地ヴォルト紙電子版）
- ルクセンブルク政府、欧州委員会が提案した「欧州のための投資プラン」の柱の一つである、欧州戦略投資基金に対し80百万ユーロの拠出を行う旨決定。国立開発金融公庫（SNCI）を通じて実施予定。（3日付ル・コティディアン紙）
- 統計局、2015年1月1日現在のルクセンブルクの人口は、前年比13,278人増の562,958人と発表。移民の増加が人口増加の主な要因。人口に占める外国人の割合は45.9%にまで増加。（8日付統計局プレスリリース）
- 2014年のルクセンブルクにおける労働コストのうち、雇用者及び被用者が負担する税及び社会保障費の割合である「税のくさび」（tax wedge）（＝（所得税＋雇用者及び被用者の社会保障負担）－家族給付）／（給与＋雇用者の社会保障負担））は、独身の勤労者の場合37.6%（OECD平均は36.0%）、配偶者及び子供2人の勤労者の場合15.1%（OECD平均は26.9%）。（15日付ル・コティディアン紙）

### 2. 金融

- グラマーニャ財務相、約40名で構成される金融ミッションを率いて13日から15日にかけてカナダを訪問。トロントにおいて「ルクセンブルク金融センター：Your Gateway to Europe and beyond」と題するセミナーを開催。（13日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）

### 3. 政府

- 13日から15日にかけてカナダ訪問中のグラマーニャ財務相、オンタリオ州のソーザ財務相及びケベック州のレイトン財務相とそれぞれ会談。（16日付財務省コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。